



殺菌・植物成長調整剤

イネピタン®粒剤

稲

いもち病の
発生を長く
防ぎます。

美

根や茎葉の
老化を防ぎ、
実りを良くし
ます。

短

イネの草丈を
短くし、倒れ
にくくします。

倒伏軽減

高品質米生産におすすめ。

稲

登熟歩合
向上

いもち病
予防



■イネビタン粒剤の上手な使い方

①出穂の10～20日前に散布する。

指導機関が発表する出穂日予想や生育診断を参考にして、必ずこの時期に散布してください。

②10アール当り3～4kgを散布する。

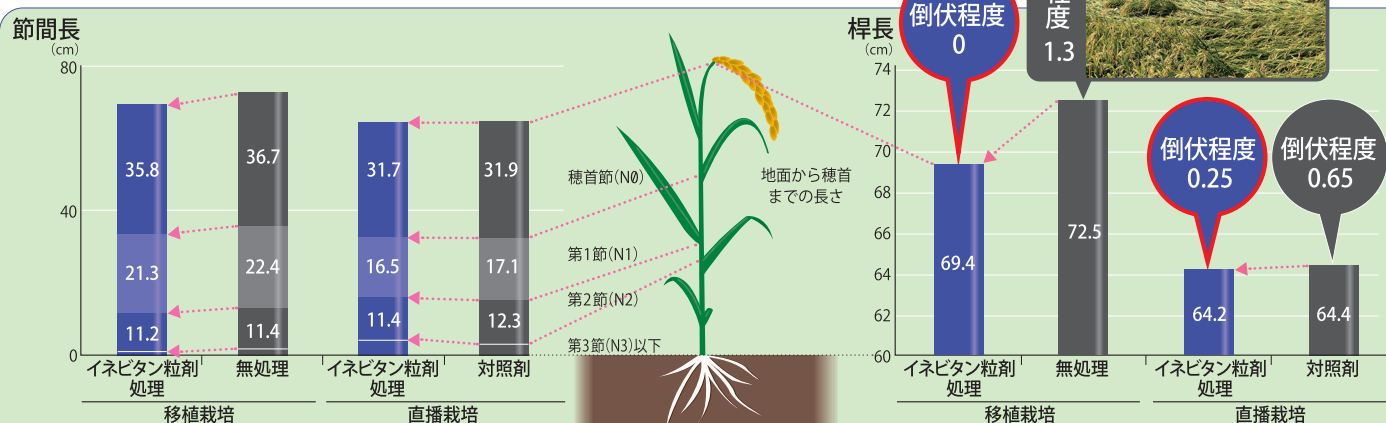
多量に散布すると、穂の出すくみなどイネに思わぬ症状がでたり、後作物に影響することがあります。

③ムラなく均一に散布する。

重複散布や散布ムラは、そのまま効果のムラ（イネの草丈のムラ）になります。散粒機等を使用して、均一に散布してください。



■試験成績（節間短縮による倒伏軽減）



北海道現地試験 2015年〔社内試験〕

〔移植栽培〕栽培様式：移植、品種：きらら397、処理日：7月24日、穂長：処理区（17.8cm）無処理区（17.7cm）穂長への影響なし

〔直播栽培〕栽培様式：条播湛水直播、品種：なつぼし、処理日：8月6日、穂長：処理区（16.4cm）対照剤（16.2cm）穂長への影響なし

※倒伏程度：〔0（無倒伏）～5（完全倒伏）〕×倒伏面積比率

■使用目的及び使用方法

<2023年4月現在の登録内容>

作物名	使用目的	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イソプロチオランを含む農薬の総使用回数	バクロブトラゾールを含む農薬の総使用回数
水稻	いもち病防除	3～4kg/10a	出穂10～20日前 但し、収穫45日前まで	1回	湛水散布	3回以内 (移植前は1回以内、 本田では2回以内)	1回
	節間短縮による倒伏軽減						
	登熟歩合向上						

◆注意事項

- 倒伏軽減に使用する時期といもち病または登熟歩合向上に使用する時期とが一致する場合に使用してください。
- 湛水状態（田水深3cm以上）でまきむらのないよう均一に散布し、散布後少なくとも3～4日間は湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 極端な漏水田での使用を避けてください。
- 倒伏軽減効果については次のことに注意してください。
 - 1) 黒ぼく土壌では効果が十分に発揮されない場合があるので注意してください。
 - 2) 重複散布や多量散布は葉害を生じたり、後作物や次年度の作物に影響する場合がありますので使用量を厳守してください。
 - 3) 本剤を使用した後に後作物として野菜類を作付けする場合、浅い耕起では初期生育に影響を及ぼすことがあるので、丁寧に深く耕起してください。
 - 4) 本剤を使用した水田土を野菜類の育苗用床土に使用することは避けてください。

5) 温度、土壌、栽培品種及び連年使用など使用する水田の条件や栽培管理によって、倒伏軽減効果の発現程度に差異を生じるので注意してください。

- 稲の登熟歩合向上を目的として使用する場合、低温等生育不良条件下で効果的ですので、これらの条件下で使用する事が望ましいです。
- 使用時期は幼穂発育期になりますので、この時期の水管理は慣行に従い、入念に実施してください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 水産動植物（魚類）に影響を及ぼしますので、養魚田では使用しないでください。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- 使用後の空容器は圃場等に放置せず、適切に処理してください。

レイミーの農薬チャットルーム

ホームページに遊びにきてね！



日農ホームページ



NICHINO

日本農薬株式会社

TEL: 0570-09-1177 URL: <https://www.nichino.co.jp/>

2023年6月作成版 (SK) DX12306S

東京都中央区
京橋1丁目
19番8号